

第4章 サンプル

- ・ 実験を行う際には全ての調査対象（母集団）を調べるわけにはいかない
- ・ 母集団からいくつかのサンプルを抽出し実験を行う
特に一般法則の生成につながるような研究上の問いに対しては、研究対象の母集団を代表するサンプルからデータを収集することが重要
- ・ 代表性：抽出されたサンプルが母集団の縮図になっているかどうか

直接サンプリング

- ・ 確率サンプリング（母集団のどの要素も等しい確率で選ばれると期待される抽出法）
適当に選び出すのとは違い、どの要素も等しい確率で選ぶ
- ・ 非確率サンプリング（確率サンプリング以外のサンプリング法）

アーカイブサンプル

学校の成績、国勢調査などすでに収集され記録として保管されているデータを利用する

長所：データが研究者によって汚されず素のままで保たれている

短所：データの質が保てない。欠損データを研究者が埋めることが出来ない。

Question

- 1、自分が教えている授業を受講する大学二年生に参加を依頼。
- 2、会議場のドアを最初にくぐった50人を選んでランダム抽出を行う。
- 3、市内の複数の学校をランダムに抽出し、その中からさらにランダムに研究に参加する学生を抽出する。
- 4、人々が集まり時間をもてあましている場所（空港など）で参加者を募る。

研究者は読み手が、母集団の代表性を判断でき、他の研究結果と比べられるよう、また研究を再現できるような十分な情報を与える必要がある。

リンク <http://www.interscope.co.jp/index.html>